

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行・平成28年10月1日・第18号通信
 責任者・小林 孝夫(井の口まちづくり会会長)
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
 事務局長・名和 利夫 ☎058-263-0097
 通信編集作成・馬場わかよ

この秋に開催するイベントを紹介します

まちなかアート部会 10月10日(祝)～15日(土) まちなかお月見アート〔クイズラリー〕

10月15日(土) 午後6時～7時30分・妙照寺に集合

10月13日の晩秋の名月・十三夜にあわせ、7回目となる「まちなかお月見アート」を開催します。金華山にかかる美しいお月さまをいっしょに愛でましょう。

町並みにススキ飾りの6日間

ご自宅の玄関先にススキを飾っていただける方は、10月10日(祝)午後1時～2時、伊藤家(ふくろう絵工房)、杉山家(画廊 光芳堂)にてススキを無料配付します。事前予約可。美しいススキ飾りのある町並みの創出を16日の朝までご協力ください。

井の口の町並みを歩く〔クイズラリー〕は、妙照寺で一人ずつ鐘をついて出発

満月に当たる10月15日(土)は、夕18時から(19時30分まで受付)クイズラリーを開催します。スタートは芭蕉さんが滞在したことで知られる妙照寺。一人ずつ鐘つき堂で鐘をついてマップを手に出発です。井の口の町並みにある楽しい「しつもん」をすべて探し、マップに答えを書きこんだらゴールへ。ペンを持ってきていただくと嬉しいです。

ゴールの伊藤家(ふくろう絵工房)では、手づくりの美味しいぜんざい(先着100人分)を用意しています。小雨決行。雨天はぜんざい配付。参加費無料。(部会長 伊藤逸夫)

市民参画賞を受賞!

10月3日住民自治推進大会にて

井の口まちづくり会会長 小林 孝夫

平成28年度市民参画賞に「井の口まちづくり会」が選考されました。この賞は、自発的な活動によりまちづくりに先導的な役割を果たしたものの功績を讃えることを目的とし、平成14年に岐阜市が創設したものです。

選考の活動区分は都市景観の保全であります。私たちの活動内容のほとんどがその評価の対象にされています。国の文化的景観重要地区や日本遺産の認定エリアに位置付けられている井の口の活動は、必然的に歴史文化やとりまく景観に深く関わり合いを持っているのでしよう。

まちづくり会では、この歴史を勉強する機会も設けています。今年度の総会の特別講演もそうですし、10月23日に開催する歴史講話会もそうです。こうした機会をおとして何気なく感じる風景や、人々の生業(なりわい)も実はとても重要な意味を持っていることを教えられます。

今回の市民参画賞の受賞で、改めて井の口まちづくり会活動の意味合いを感じたいものです。

エリア内・自治会長会議を開催

井の口エリア19町内の自治会長様にお集まりいただきました。目的は、井の口まちづくり会の活動のご理解とご協力をお願いするもので、毎年4月の総会後に各自治会長様へ会議ご参集のお願いを行っております。

今年も多く自治会長様のご出席をいただき、総会の資料と通信、マップをもとに活動内容を紹介します。よくご存じの方もお見えでしたが、一様に活動を評価していただくことができ、とても有難く、また心強く感じました。

井の口まちづくり会の活動には、お住いの方々のご理解が不可欠です。特に、事業に関する広報には自治会の協力が不可欠です。特に、事業に関する広報には自治会の協力が不可欠です。特に、事業に関する広報には自治会の協力が不可欠です。

これからの役員一同、地域の皆様のご支援のお気持ちを裏切ることがない活動を継続していきたいと決意するとともに、多数の皆様参加を願っております。(小林孝夫)

まちの風景検討部会 日帰りバス視察研修 宇治市・宇治橋周辺 11月6日(日)

参加費4,000円 定員45名(まちづくり会員限定) 先着順・受付開始10月15日午前9時から(定員になり次第締め切ります)

今回で6回目、隔年開催となりました日帰りバス視察研修は、宇治茶と文化遺産で有名な宇治市の平等院に接する三角形街区の町並みに決定しました。宇治橋の南に位置する三角形街区を中心に視察し、美しく改修されたばかりの平等院を訪ねます。

参加を希望される方は、裏面左下の申込書を下記申込み先へ提出してください。今回は遠方のため的高速代とバス代の高騰等により参加費を上げさせていただきました。

- 申込み先 正法寺大仏殿受付へ先着順(小林会長宅)
- 参加費用 4,000円(昼食・拝観料込み) 集合場所受付にて当日の納金です(※当日と前日のキャンセルには、参加費を後日徴集させていただきます)
- 集合日時 11月6日(日) 午前7時30分(8時出発)(帰宅時間は18時30分頃を予定)
- 集合場所 岐阜公園・名和昆虫博物館 東側 (部会長 名和利夫)

まちの歴史探索部会 歴史講話会 信長をめぐる女性たち

信長と結婚後、消えてしまった濃姫の去就はいかに？
 今回、濃姫を中心に信長をめぐる多くの女性と息子たちの戦国時代以降の生きざまを掘り下げてみたいと思います。

10月23日(日) 午後2時～3時30分・妙照寺(梶川町) 定員40名(先着順・定員になり次第締め切ります) 参加費無料

- 開催日時 10月23日(日) 午後2時～3時30分
- 開催場所 妙照寺(梶川町)
- 講師 土山 公仁氏(岐阜市歴史博物館 学芸員)
- 定員 40名(参加費無料・どなたでも参加していただけます)
- 申込み先 まちの歴史探索部会 部会長 堀 達夫(090-2573-2023)



コーヒーには武将の名を、紅茶 他には奥方の名をつけたカフェ茶人の入り口

中庭に立つご夫妻

旅行客や女性が多いのですが、モニターも好評で常連客も増えています。定休日は、水曜・木曜日。朝9時～午後4時までと決まっています。が、好きなことをする時間を確保するために、気ままにやっているところを揃えられます。(馬場わかよ)

まちなかお宝アート発見
 町家を再生 カフェ茶人
 木挽町のバス停前に今年6月24日 Cafe Chat(カフェチャット)がオープンしました。
 空き家になっていた築約100年経つ奥様の実家を改装した、町家の温もりと新しさの加わった素敵なお店では、ご主人こだわりの岐阜三大畜産物(飛騨牛、美濃けんこん、奥美濃古地鶏)を使ったランチを提供しています。おすすめは「飛騨牛入りロコモコ」と「莊川もりそば」、珍しいところでは白川茶で作った紅茶です。
 長年、公務員として獣医を務めていたご主人は、畜産を愛し、戦国武将の名をメニューにしてみました。歴史好き、大の明智光秀ファンです。奥様は民謡三味線をたしなまれ、旅行が大好き。ハワイは二人にとって特別な場所です。そして、何よりも岐阜県愛に満ちあふれていて、店内で提供している食材はもちろん、器は土岐の美濃焼、スプーンや箸は春慶塗りという徹底ぶりなのです。

平成28年度定期総会を開催しました

4月29日歴史博物館にて、9年目となる井の口まちづくり会定期総会を今岡和也岐阜市副市長ほか来賓をお迎えして開催しました。総会では、平成27年度事業報告及び決算報告、並びに平成28年度事業計画案と予算案、役員改選等の承認がなされ、続いて「まちの文化的建造物」の顕彰式が行われました。

総会終了後は、信長公居館跡研究で知られ、日本遺産の認定に尽力された高橋方紀歴史遺産活用推進係長による講演が行われました。



第3回「まちの文化的建造物」顕彰

恒例になりました「まちの文化的建造物」の顕彰式を、総会の席上で行いました。



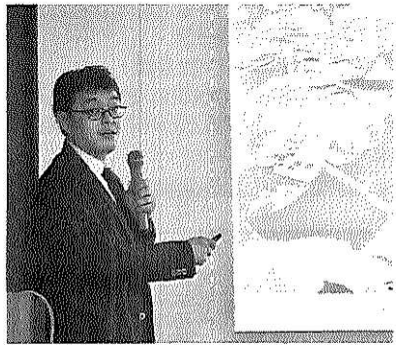
顕彰式にご臨席いただいた管理者様

今回対象の建物は、伊藤邸(下茶屋町)、笠原邸(下茶屋町)、濃飛倉庫(山口町)、高橋邸(山口町)、中村邸(松ヶ枝町)です。この5邸の玄関先には、桜の木に印字した井の口まちづくり会特製顕彰札を付けていただきます。

当日ご臨席いただいた顕彰建物の管理者の方々には、会場ステージにおいて、小林会長からこの顕彰札を贈呈しました。なお、所用につきご臨席いただけなかった中村様には後日お渡ししました。

特別講演

「発掘調査と宣教師の記録からみた岐阜城・織田信長公の居館跡」



岐阜市教育委員会 社会教育課 高橋 方紀氏

居館の姿はこれまで文献だけの世界でありましたが、発掘によって得た貴重な成果をイラスト、写真を使って紹介していただき、私

たちを50年前のリアルな井の口の世界へと誘っていただきました。

それは出現した石垣、巨石列、金箔瓦などの歴史的証拠と、ルイス・フロイスによる詳細な記録が重い重なりという事実であり、私たちが誇りとする井の口の歴史をさらに重く感じさせるものでもありません。今回のお話は、道三、信長によって形成された私たちの井の口の歴史を学ぶのに、とても意義ある特別講演となりました。高橋様にお礼申し上げます。(小林孝夫)

平成28年度前期・井の口まちづくり会・各部会活動報告

まちの風景検討部会

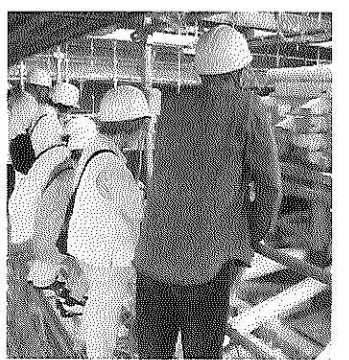
会員企画「三重塔見学会」開催

国史跡の金華山に位置する登録有形文化財「三重塔」の修復整備工事の学習見学会を6月8日(水)に行いました。



三重塔は、完成から100年近く経過し、老朽化が著しいことから修復整備のために半解体工事し、調査判別後に可能な限り既設部材を利用して再度組み立てます。工期は平成29年2月までの予定です。

見学会の参加者は34名。2グループに分かれ、見学時間は1時間程度。まず工事事務所で工事の概要説明を受け、



工事現場を見学する参加者

足場の階段を上り工事中の二重の組み立て現場へ。順次説明を受けつつ階下へ降りました。現地での説明は、普段は近くでは見られない実物を前にしての丁寧で分かりやすいものでした。(名和利夫)

「まちなかアート部会」開催

7月2日(土)、夕闇迫る金華山と岐阜城を背景に、今年も般若寺を会場に七夕コンサートを開催しました。



津軽三味線kotobuki 西尾 契代さん

りや竹筒のキャンドルを施した山門と参道が、幻想の世界を演出しました。

本年は井の口地区をはじめ80名ほどの入場が得られ、部



般若寺の山門前に七夕の飾り付け

会員と役員の積極的な協力のおかげで無事終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。(伊藤逸夫)

イベント部会

「大仏フェスティバル」協賛事業

7月23日、24日に行われた大仏フェスティバルに協賛して、イベント部会では子ども



子どもたちにゲームの説明



ゲームを楽しむ子どもたち

を対象にしたゲームを担当しました。各日も、幼児から小学校高学年までおよそ60人

がワイワイにぎやかに参加してくれました。

ゲームは自分たちの新聞が破れないように守りながら相手の新聞を破りにいく「ビリビリ鬼」や、首にかけたカラフルなレイを後ろの人にかけ「レイをかけよう!」など、幼児でも参加できるものを赤組、青組と別れて競いました。ゲームとはいえ、うまくやれない子が泣き出しそうになる場面もあり、大丈夫かな?と大人は心配しながら見守っていました。(高橋かずえ)

バス視察研修参加申込書

氏名			
住所	〒	-	
	TEL	-	
同行者名 家族のみ			
〇で囲む	会員	新規会員	*

*新規会員は、参加費と今年度会費をいただきます。

新役員の紹介

平成28年度の役員改選により新たに2名の方に就任いただきました。

●岩佐 純一 幹事(木挽町)

幼稚園までしか住んでおらず、戻ってからも会社人間であった私は、自治会の活動をしたことで、初めて井の口まちづくり会を知りました。

当会では「まちの歴史探索部会」をお手伝いさせていただきます。部会のテーマは「温故知新」。おらがまちの今に残る歴史的な文化や景観を勉強会や見学会を通して、次の世代に伝え、継承していく活動です。世代を問わず、我々の故郷が好きと言えるまちづくりを目指していきます。

●加野 直巳 幹事(大宮町1丁目)

昨年、堀特別顧問にお誘いいただき「まちの歴史探索部会」に参加したばかりなのに、今年にはさらに幹事を仰せつかることになりました加野と申します。岐阜を長い間離れていて、戻ってきて3年半になります。分からないことも多く、なかなかお役にたてないかと思いますが、いろいろ勉強させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

●会長以下、役職等は前年のままですが、堀達夫顧問が特別顧問に就任され、6月に亡くなられた杉山周三様がされた、まちの歴史探索部会長の後継に就きました。杉山様のご冥福をお祈りいたします。